現在加盟組合は中部交通、中部合同、中部機械技工及浜松合同の四団体であつて浜松合同は本年一月加盟したものである。浜松合同の属する鈴木機織工場の争議は三十一日間継続し特色ある争議であつた。次末岐阜大垣地方迄漸次勢力を伸はしつゝある。

(3) 京都（植村政夫）

京都地方評議会の所属組合には京都合同、京都染物、京都木材、京都電機で其会員千三十名であつたが現在では千五百名を算する。仝時に京都勢力範囲を地域的に著しく拡大して府下の舞鶴、滋賀県下の森山方面に迄びた。又組合各専門部の職能につき明確なる智識を得たこと、外部運動として失業並に悪法反対及政党組織の諸運動を始め京都無産者教育協会の設置の如きは特筆すべきものであり重なる関係争議は奥村電気、西陣捻糸工場等がある。

(4) 大阪（徳田英治）

大阪地方評議会は他の地方評議会と異り大部分は総同盟の勢力に属し居るため評議会に加盟することは至難である。大阪地方評議会の加盟組合は創立以来漸次増加し現在では六千七百名に上つた。組合として増加は一般労働者、木材の二つである、争議は総計四十一件、其の他協同運動に活動したり

(5) 中国（平盛美佐緒）

中国地方評議会の加盟組合は広島、岡山の二市及松永町所在の六組合であるが大工場は織維工場に占められ他は小工場であつたため組織に困難であるが発展の可能性は充分にある

(6) 北海道（鈴木源重）

北海道地方評議会は本年二月迄関東地方評議会に所属してゐた。現在組合数函館二、小樽、室蘭、札幌各一で組合員は一千四百名にして右の内小樽合同の七百の会員中六百名が自由労働者で占めてゐることは特記すべきことである。尚北海道の未組織労働者数は札幌千五百、函館小樽二万、室蘭一万五千の外夕張苫小牧等に集中され将来頗る発展する可能性を有してゐる。又函館鉄工（四百名）は既に加盟が予想され全地印刷労働も今月に新設の予定である。

(7) 神戸（奥田宗太郎）

神戸地方評議会が正式に成立を見たるは十四年七月二十日であつて所属組合六であつた。過去の活動状況を先づ共同戦線の方面より述ぶれば昨年七月上海争議に際し英船乗込支那船員一千名神戸で下船せる際援助を与へ、又失業悪法反対、政党組織運動に参加し本年二月には神戸に於ける組合運動の中心は悉く評議会が中心となつてゐる、外部に活躍した結果組合の内部事務が閑却された憾みがあつたので其の方面は特に産業別整理に対し労力を揮ひ最近合同の一部とゴム労働を合して化学労働組合を創立した。尚十四年十月組合費の値上を断行した為めに一時は組合員の減退を見たが最近は増加の傾向を示してゐる。

次に神戸市に於ける周囲の情勢は四万五千の工場労働者中大多数は三菱川崎ダンロップ、鉄道省に所属し内三分の二は三菱川崎二工場の職工である、尚此の外に二万人の自由労働者があつて最近自覚の度を高めて組織の機運に接しつゝあることは注目すべき点である。

関係争議件数は五件人員五百で内三件は